

(\*印は講演者を表す)

相互作用	A 会場	C 会場
	座長 : 時長 宏樹 (IORGC)	座長 : 田中 泰宙 (気象研)
A101	*山本勝・広瀬直毅 (九大応力研) 衛星データ同化 SST を用いた冬季日本海域の気象シミュレーション	C101 *中前久美・塩谷雅人 (京大生存研) 北大西洋上における北半球冬季のサハラ・ダストの経年変動
A102	*山内明子・小林裕司 (伊豆海洋科学研究所) 他 2 名 伊豆半島周辺における層別海水温の変動解析—相対分散による相境界の性質について—	C102 *宮崎雄三・近藤豊 (東大先端研) 他 6 名 韓国済州島における水溶性有機エアロゾルの化学特性
A103	*小橋史明 (東京海洋大)・谷本陽一 (北大院地球環境/FRCGC) 他 5 名 冬季黒潮続流域で観測された大気境界層の構造と変動	C103 *青木輝夫・田中悦子 (気象研) 他 6 名 積雪に含まれる黒色炭素・ダストとアルベドの観測
A104	*古関俊也・渡部雅浩 (北大院環境科学) 黒潮続流域における中規模 SST 偏差が駆動する大気境界層内循環	C104 *五藤大輔 (東大気候システム)・竹村俊彦 (九大応力研) 他 1 名 エアロゾル活性時における競合効果の全球雲場に与える影響
A105	*田中英貴 (名大院環境)・安成哲三 (名大地球水循環) 他 2 名 夏季オーストラリアにおける雲量の長期的な増加傾向	C105 *田中泰宙・出牛真 (気象研) 他 エアロゾルモデルの気象研究所地球システムモデルへの結合と火山性エアロゾルによるエアロゾル放射結合実験
A106	*神代剛・塩谷雅人 (京大生存研) 海上観測雲データと ERA-40 を用いた下層雲量と下部対流圏安定度の季節変動の相関解析	

(\*印は講演者を表す)

B 会場

「可搬型気象レーダーの現状と将来展望—小規模じょう乱から気候変動の観測まで—」

午前(10:00~11:30)

§1 最近の観測—小規模じょう乱から気候変動まで—

10:00~10:05	趣旨説明	楠研一(気象研)	座長 : 小林 文明(防衛大)
10:05~10:20	B101	*藤吉康志(北大・低温研) 可搬型ドップラーXバンドレーダー、レーザーレーダーを用いた観測概括と今後の展開	
10:20~10:35	B102	*遊馬芳雄(琉球大理 / 北大院理) 北極域でのレーダー観測	
10:35~10:50	B103	*橋口浩之(京大生存研)・植松明久(NICT)他5名 車載型ミリ波ドップラーレーダーによる雲・霧の観測	
10:50~11:05	B104	*杉本聡一郎(電中研)他2名 福島県会津盆地における雷雨のデュアルドップラー観測	
11:05~11:20	B105	*鈴木智幸・道本光一郎(航空自衛隊)他1名 北陸の冬季雷と中間圏発光現象の観測	

午後(13:30~17:00)

§1 最近の観測—小規模じょう乱から気候変動まで—(続き)

座長 : 真木 雅之(防災科研)

13:30~13:45	B151	*楠研一(気象研) 気象研究所における可搬型ドップラー気象レーダーを用いた研究—これまでと今後—
13:45~14:00	B152	*小林文明(防大地球) 竜巻・ダウンバーストの微細構造
14:00~14:15	B153	*牛山朋来・勝俣昌己(IORGC)他2名 IORGC/JAMSTECで行われた可搬型レーダーによる気候変動の観測
14:15~14:30	B154	*渡邊明(福島大理工学群) 2次元降水量測定の精度向上のためのX-Band Radar 観測

§2 新たな動き—開発・運用・データ処理技術—

座長 : 楠 研一(気象研)・牛山 朋来(IORGC)

14:30~14:45	B155	*上田博(名大地球水循環)他3名 地球水循環観測マルチパラメーターレーダー(可搬型)の機能と諸元
14:45~15:00	B156	*鷹野敏明(千葉大院自然)・河村洋平(千葉大工)他10名 95 GHz ミリ波雲レーダ FALCON の性能と将来展望
15:00~15:15	休憩	
15:15~15:30	B157	*牛尾知雄(大阪大院工)・今井克之(住友電工)他5名 気象用高分解能レーダ(広帯域レーダ)システムの開発
15:30~15:45	B158	*真木雅之・前坂剛(防災科研)他15名 局地気象擾乱のリアルタイム監視レーダネットワーク(X-NET)
15:45~16:00	B159	*加藤亘・鈴木博人(JR 東日本防災研究所)他3名 日本海沿岸部におけるXバンドドップラーレーダを用いた観測

16:00~16:40 メーカーの立場から 東芝・日本無線・三菱電機

座長 : 上田 博(名大地球水循環)

16:40~17:00 総合討論

※各講演の持ち時間は15分(講演13分+質疑応答2分)

大会第1日 [ 5月13日 ] 13:30~17:00 専門分科会

(\*印は講演者を表す)

C 会場

「大気リモートセンシングデータ解析技術における工夫」

座長：今須 良一(東大気候システム)

- 13:30~13:50 C151 \*今須良一・齋藤尚子(東大気候システム) 他1名  
熱赤外スペクトルを用いたCO<sub>2</sub>濃度解析時における気温情報の導入方法
- 13:50~14:10 C152 \*太田芳文(環境研)・今須良一(東大気候システム) 他1名  
衛星からの温室効果ガス観測における誤差の評価手法
- 14:10~14:30 C153 \*齋藤尚子(東大気候システム)・太田芳文(環境研) 他2名  
リトリーバルチャンネルの選択によるCO<sub>2</sub>濃度推定精度の向上

14:30~14:35 休憩

座長：笠井 康子(NICT)

- 14:35~14:55 C154 \*笠井康子(NICT) 他4名  
テラヘルツ波衛星リモートセンシング観測のデータ解析アルゴリズム開発
- 14:55~15:15 C155 \*Philippe Baron(NICT)・Y. Kasai(JAXA) 他3名  
Retrieval of JEM/SMILES line of sight pointing from non-oxygen lines
- 15:15~15:35 C156 \*Jana Mendrok・Philippe Baron(NICT) 他1名  
Submillimeter and Terahertz Remote Sensing of Clouds

15:35~15:40 休憩

座長：杉本 伸夫(環境研)

- 15:40~16:00 C157 \*杉本伸夫(環境研)  
ライダーによるエアロゾルの定量的測定について
- 16:00~16:20 C158 \*西澤智明・杉本伸夫(環境研) 他7名  
能動型測器と受動型測器を用いたエアロゾル導出アルゴリズムの開発
- 16:20~16:40 C159 \*岡本創・佐藤可織(東北大理) 他1名  
雲微物理量解析シナジーアルゴリズム

16:40~17:00 総合討論

※各講演の持ち時間は20分(講演15分+質疑応答5分)

(\*印は講演者を表す)

D 会場  
「チベット高原気象学の進展」

午前(10:00~11:30)

- 10:00~10:10 趣旨説明 上野健一(筑波大院生命環境) 座長 : 栗田 直幸(IORGC)
- 10:10~10:25 D101 \*堀正岳・阿部学(名大)他3名  
チベット高原が冬季から春期のアジアモンスーンの季節進行に果たす役割~AOGCM 地形除去実験を通して~
- 10:25~10:40 D102 \*佐藤友徳(東大気候システム)他2名  
全球雲解像モデル NICAM によるチベット高原上の対流活動の日変化
- 10:40~10:55 D103 \*永野良紀(日大院地球情報)・加藤央之(電中研)他1名  
チベット高気圧の北偏に関する気候学的解析
- 10:55~11:10 D104 \*川島茂人(農環研)・唐艶鴻(環境研)他3名  
チベット高原における気象環境の長期モニタリング
- 11:10~11:30 総合討論

午後(13:30~17:00)

- 座長 : 阿部 学(名大院環境)
- 13:30~13:45 D151 \*小池俊雄・陽坤(東大工)他1名  
チベット高原における地表面フラックスの時空間分布の算定
- 13:45~14:00 D152 \*上野健一(筑波大学生命環境)・広瀬望(科学技術振興機構)  
冬から春にかけてチベット高原の積雪と大気陸面過程
- 14:00~14:15 D153 \*谷口健司・小池俊雄(東大院工)  
春季チベット高原東部域における対流圏上層大気昇温と積雲活動
- 14:15~14:30 D154 \*田中健路(熊大院自)・石川裕彦(京大防災研)他7名  
チベット高原東部 BJ サイトにおける乱流フラックス観測
- 14:30~14:45 D155 \*萩野谷成徳(気象研)・徐健青(FRCGC)  
チベット高原上の広域熱収支解析
- 14:45~15:00 D156 \*杜明遠(農環研)他9名  
チベット高原における山地気象観測の意義
- 15:00~15:15 休憩
- 座長 : 佐藤 友徳(東大気候システム)
- 15:15~15:30 D157 \*山田広幸(IORGC)  
チベット高原上の雲活動に対する陸面状態の役割
- 15:30~15:45 D158 \*栗田直幸(IORGC)  
チベット高原での夏期降水活動における再循環過程の役割
- 15:45~16:00 D159 \*杉本志織・上野健一(筑波大院生命環境)  
夏季モンスーン期チベット高原の積雲対流活動に関する数値実験
- 16:00~16:15 D160 \*村田文絵(高知大理)・寺尾徹(大阪学院大)他3名  
チェラブンジにおける降水過程に関する研究(第3報)
- 16:15~16:30 D161 \*福島あずさ(首都大都市環境)・高橋日出男(学芸大)他1名  
ネパールにおけるプレモンスーン季降水量の年々変動と循環場の特徴について
- 16:30~16:45 D162 \*藤波初木(名大地球水循環)  
夏季チベット高原上の対流活動の日変化と季節内変動の関係
- 座長 : 上野 健一(筑波大院生命環境)・里村 雄彦(京大院理)
- 16:45~17:00 総合討論

※各講演の持ち時間は15分(講演13分+質疑応答2分)

(\*印は講演者を表す)

## A 会場

## B 会場

## 気象予報 I

## 竜巻

座長：原 旅人(気象庁数値予報)

座長：益子 涉(気象研)

- A201 \*原旅人(気象庁数値予報) 他 11 名  
気象庁の現業非静力学メソモデルの予報時間延長に向けた開発
- A202 \*國井勝(気象研)・本田有機(気象庁数値予報)  
気象庁非静力学モデルに対する特異ベクトルの計算(第4報)
- A203 \*斉藤和雄(気象研)  
気象庁非静力学モデルによる BGM 法のテスト(その2)
- A204 \*斉藤和雄・瀬古弘(気象研) 他 4 名  
WWRP 北京 2008 予報実証/研究開発プロジェクトについて(その1 2006 年夏予備実験)
- A205 \*青梨和正・永戸久喜(気象研)  
非静力学解像モデルの物理量のアンサンブル予報誤差の擾乱依存性について
- A206 \*松枝未遠(筑波大院生命環境) 他 3 名  
2005 年 12 月 15 日にアメリカ西海岸に発生したブロッキングの予報について-アンサンブル予報データを用いた数値実験および感度解析-
- A207 \*三好建正・佐藤芳昭(気象庁数値予報)  
気象庁全球モデルを使った LETKF 実験
- A208 \*妹尾卓・木本昌秀(東大気候システム)  
大気大循環モデルを用いたアンサンブル・カルマンフィルタ実験

- B201 \*益子涉(気象研)  
雲解像モデルによる T0613 号に伴う竜巻の再現実験
- B202 \*坪木和久(名大地球水循環)  
台風 0613 号の外域降雨帯に発生したスーパーセルに伴う竜巻のシミュレーション
- B203 \*加藤輝之(気象研)・新野宏(東大海洋研)  
2006 年 11 月 7 日北海道佐呂間町で観測された竜巻の発生環境～雲解像モデルによるスーパーセルの再現結果から～
- B204 \*吉田聡・榎本剛(地球シミュレータ)  
佐呂間竜巻を伴った爆弾低気圧の予測可能性
- B205 \*遊馬芳雄(琉球大理/北大院理)  
北海道佐呂間町での竜巻発生時の総観場と竜巻発生成因の可能性
- B206 \*前坂剛・清水慎吾(防災科研)  
2001 年 8 月に羽生市で竜巻をもたらした親雲の構造について
- B207 \*佐藤晋介・出世ゆかり(NICT) 他 2 名  
ドップラー気象レーダーによる突風検出に関する諸問題
- B208 \*鈴木修・山内洋(気象研) 他 4 名  
'96~'06の空港気象ドップラーレーダーのデータを用いた竜巻等突風の親雲のメソサイクロンの解析
- B209 \*阿保敏広・勝山健一(気象庁観測システム運用) 他 2 名  
ウインドプロファイラを用いた竜巻事例におけるストーム相対ヘリシティの調査

(\*印は講演者を表す)

## C 会場

## D 会場

微量気体

大気力学

座長：石戸谷 重之(東北大院理)

座長：高木 征弘(東大院理)

- C201 \*寺尾有希夫(環境研)・Jennifer Logan(ハーバード大) Consistency of time series and trends of stratospheric ozone as seen by ozonesonde, SAGE II, HALOE, and SBUV(/2)
- C202 \*秋吉英治(環境研)・L.B. Zhou(中国科学院大気物理研究所) 北半球中高緯度および北極渦内下部成層圏 N<sub>2</sub>O 濃度と北極渦崩壊時期
- C203 \*宮崎和幸(FRCGC)・須藤健悟(名大院) 局所アンサンブル変換カルマンフィルタを用いた大気微量成分データ同化システムの開発
- C204 \*澤庸介(気象研)・町田 敏暢(環境研) 他7名 定期航空機で観測された圏界面付近の二酸化炭素濃度の変動
- C205 \*石戸谷重之(東北大院理)・菅原敏(宮城教育大) 他3名 成層圏において観測された大気主要成分の重力分離
- C206 \*近藤裕昭・村山昌平(産総研) 他7名 安定大気境界層中の物質輸送の研究-ラドンをトレーサとして-
- C207 \*斎藤琢(岐阜大流域圏) 他2名 急斜面上に位置する常緑針葉樹林における熱収支のインバランスについて
- C208 花岡慶賢・\*山本晋(岡山大院環境) 他2名 水稻群落における夜間吸収CO<sub>2</sub>フラックスの選抜
- C209 \*岩田徹・渡邊千香子(岡山大院環境) プロファイル法による海面二酸化炭素フラックス

- D201 \*城戸敦誉(九大大気海洋環境システム)・和方吉信(九大応力研) AGCMによる金星大気大循環における多重平衡解の再現
- D202 \*池田恒平(東大気候システム)・山本勝(九大応力研) 他1名 大気大循環モデルを用いた金星大気スーパーローテーションの研究
- D203 \*高木征弘(東大院理)・松田佳久(学芸大) 金星大気スーパーローテーションに対する熱潮汐波の力学的効果(2)
- D204 \*高橋芳幸・林祥介(北大院理) 他2名 火星大気大循環モデルで見られた日変化する小規模渦
- D205 \*小郷原一智・里村雄彦(京大院理) トラフに伴う低気圧性渦と火星ダストの挙動の関係
- D206 \*杉山耕一朗・小高正嗣(北大院理) 他2名 木星大気雲対流の直接数値計算: 対流運動と雲分布の凝結成分存在度に対する依存性
- D207 \*前島康光・伊賀啓太(東大海洋研) 帯状収束雲上に見られる渦状擾乱の非線形発展-線形安定論における不安定モードとの対応-
- D208 \*伊藤久徳・石井美里(九大院理) 渦と渦の相互作用から見る様々な現象-特に二次元乱流について-

(\*印は講演者を表す)

## A 会場

## B 会場

## 気象予報 II

## 降水システム I

座長：及川 博史(JAXA)

座長：出世 ゆかり(NICT)

- A301 \*間瀬博文(所属なし)  
竜巻を駆動する向心力と同種のものに因る？熱  
気球の不思議な動き
- A302 \*柳野健(気象研)  
ローレンツシステムの第三種予測性—計算スキ  
ーム敏感性
- A303 \*及川博史・井之口浜木 (JAXA)  
2005年3月18日関東での乱気流域発生メカ  
ニズム(寒冷前線型・温度逆転層の発生)
- A304 \*及川博史・井之口浜木 (JAXA)  
十勝平野における冬季乱気流域発生メカニズム  
(日高山脈からの山岳波と等温位層の流入)
- A305 \*竹見哲也・畑村真一(東工大院総理工)  
他1名 微細地形の影響を受ける風の局所性に  
関する超高解像度計算
- A306 \*吉野純・田中章(岐阜大院工)他2名  
風力発電量予測のための短期風況予測技術の  
開発
- A307 \*大泉三津夫(気象研)他2名  
MRI/JMA-SiBによる積雪・融雪情報の利用
- A308 \*稲葉守生・小寺邦彦(気象研)  
全球大気モデルを用いた2005年12月の予報に  
おける初期値及び下部境界条件依存性

- B301 \*篠田太郎・真木亮(名大地球水循環)他3名  
梅雨期に東アジアで観測された降水セルの統計  
的特徴
- B302 \*出世ゆかり・高橋暢宏(NICT)他3名  
COBRA 観測による対流性降水域の融解層高度  
—沖縄地方の梅雨前線事例について—
- B303 \*東邦昭(神戸大院自然)・山中大学(IORGC)  
他4名 2006年梅雨期に近畿地方を通過した線  
状降水帯
- B304 \*彭新東・高橋桂子(地球シミュレータ)  
MSSGによる2006年7月九州豪雨のシミュレー  
ション
- B305 \*津口裕茂・上山仁司(大阪管区気象台)  
2006年8月22日の豊中豪雨
- B306 \*山田芳則(気象大)・赤枝健治(気象庁観測)  
2005年9月4~5日に豪雨をもたらしたバンド状  
降水雲のドップラーレーダー解析(その2)
- B307 \*用貝敏郎(福岡管区気象台)  
2007年9月16日、佐賀県で発生した記録的短時  
間大雨 — 下層の空気塊を自由対流高度まで  
持ち上げてくれる外部強制力のウィンドプロファイ  
アによる検出 —
- B308 \*山本勝(九大応力研)  
2001年10月9~10日の黄海・東シナ海と日本海・  
日本南岸の二つ玉低気圧の数値実験
- B309 \*中井専人(防災科研)・坪木和久(名大地球水  
循環)他3名 2005/2006冬季降雪時における  
内陸地上気象要素の再現性

(\*印は講演者を表す)

## C 会場

## D 会場

## 大気境界層 I

## 中層大気

座長：酒井 敏(京大院人間環境)

座長：渡辺 真吾(FRCGC)

- C301 \*安井元昭 (NICT)・劉立超 (中国科学院寒区旱区環境与工程研究所) 他 4 名 中国内陸部砂漠上空境界層におけるダスト鉛直輸送——2004年6月のシーロメーター観測結果——
- C302 \*大塚清敏(大林組技研)  
T0423 広戸風における臨界層の役割に関する 2 次元的数値実験
- C303 \*中西幹郎 (防衛大地球海洋)・新野宏 (東大海洋研)突風被害を生ずる可能性のある台風境界層内のロール状構造
- C304 \*山田哲二(YSA)  
建物間の”風の道”が都市での汚染物質の濃度分布に与える影響に関する数値シミュレーション
- C305 \*大西将徳・酒井敏 (京大院人間環境)  
日本列島上空に吹く日変化、年変化する水平対流
- C306 \*藤原忠誠 (北大院環境科学)・藤吉康志 (北大低温研) 他 1 名 ドップラーライダーを用いたサーマルの発生条件と空間構造
- C307 \*岩井宏徳 (NICT) 他 7 名  
仙台空港におけるベクトル風のデュアルドップラーライダー観測
- C308 \*岩井宏徳 (NICT) 他 6 名  
コヒーレントドップラーライダーによる仙台空港における海風の観測

- D301 \*水野亮・杉本朋世 (名大 STE 研) 他 9 名  
チリ・アタカマ高地における成層圏・中間圏  $H_2^{18}O$  の時間変動観測
- D302 \*稲飯洋一 (北大院環境科学) 他 6 名  
TTL 水蒸気 MATCH を用いた水平移流に伴う脱水の評価
- D303 \*美談年民・宮原三郎 (九大院理) 他 1 名  
赤道域対流圏界面付近に cold- point が停滞する理由
- D304 \*柴田清孝・出牛真 (気象研)  
赤道成層圏準二年振動(QBO)の子午面構造(化学—気候モデル過去再現実験と観測との比較)
- D305 \*宮崎和幸 (FRCGC)・岩崎俊樹 (東北大院理)  
成層圏亜熱帯および極渦縁辺におけるトレーサー濃度勾配の形成機構
- D306 \*西井和晃・中村尚 (東大院理)  
アンサンブル予報を用いた成層圏突然昇温予測の初期値誤差場への依存
- D307 \*杉本憲彦 (名大院工)・石井克哉(名大情連基セ)球面浅水系におけるジェットからの重力波放射



大会第4日

[ 5月16日 ]

9:30~11:30

一般口頭発表

(\*印は講演者を表す. [OHP]はOHPを使用する講演を示す.)

A 会場

B 会場

気候システム I

降水システム II

座長 : 高橋 清利(気象研)

座長 : 那須野 智江(FRCGC)

- A401 \*中澤哲夫(気象研)  
台風上陸モードの季節推移
- A402 \*梶川義幸(国際太平洋研究センター)・BinWang  
(国際太平洋研究センター/ハワイ大気象) 他 1 名  
広域オーストラリアモンスーンの指標とその経年変動特性
- A403 \*鈴木恒明・二宮洗三(FRCGC) 他 2 名  
夏季インドモンスーンにおける対流抑制の効果
- A404 \*谷田貝亜紀代(地球研)  
インドの日降水量解析とグリッド化による影響評価
- A405 \*佐藤尚毅・米山邦夫(IORGC) 他 6 名  
ダイポール衰退期における MJO に伴う海洋表層の変動
- A406 \*井上誠・高橋正明(東大気候システム)  
夏季アジアモンスーンに伴う対流圏-成層圏循環の変動(2)
- A407 \*田中博(筑波大計算科学)・鈴木一步(筑波大生命環境)  
順圧大気場にみられる大西洋と太平洋の有意な相関について---北極振動モードの検証実験---
- A408 \*澤井哲滋(気象大)  
総観場から見た 2005 年冬と 2006 年冬の比較

- B401 \*那須野智江(FRCGC)・佐藤正樹(東大気候システム) 他 4 名  
全球非静力学モデルを用いた水惑星数値実験における降水特性
- B402 \*上口賢治(気象研)  
地形効果を取り込んだ高解像度降水データを用いた降水量と風に関する解析
- B403 \*山岬正紀(FRCGC)  
赤道上の島における対流の日変化:20km 格子モデルによる理想化実験
- B404 \*安永数明(IORGC) 他 2 名  
Melting Layer Cloud の生成過程に関する数値実験
- B405 \*川瀬宏明・木村富士男(筑波大院生命環境)  
半乾燥域のモンゴルにおいて夏季の積雲対流活動に土壌水分と地形が及ぼす影響
- B406 \*二宮洗三(FRCGC)  
大気大循環モデルで再現された南インド洋収束帯と北大西洋収束帯 [OHP]
- B407 \*佐々木佳明・齋藤靖子(秋田県立大生物資源)  
冬季の気象擾乱に伴う雲底高度の変動の特徴
- B408 \*カイサル・スラム(富山大人間発達科学)  
AMeDAS データから求めた北陸における最近 26 年間の豪雪と豪雨の変化

(\*印は講演者を表す)

C 会場		D 会場	
大気境界層 I		台風	
座長 : 塚本 修(岡山大理)		座長 : 筆保 弘徳(IORGC)	
C401	*飯澤功(京大院人間環境)・矢島新(京大地環) 他5名 京都市におけるヒートアイランド現象の観測—地域レベルの熱慣性と、郊外から都市部への移流—	D401	*筆保弘徳(IORGC) 降水・水蒸気安定同位体観測による台風内部水循環の研究
C402	*酒井敏・立木秀樹(京大院人間環境)他2名 地表面のフラクタル形状と大気に対する熱伝達率	D402	*加藤内蔵進(岡山大教育)・佐竹愛(岡山大理) 他2名 2004年10月後半のTy0423に伴う日本列島での広域の降水(台風18号と比較して)
C403	*酒井敏・飯澤功(京大院人間環境)他6名 夜間のヒートアイランド強度とヒートアイランド循環	D403	*楠研一(気象研)他9名 メソ渦の存在を示唆するインナーコア周辺の地上風と気圧変動
C404	*塚本修・谷口玲子(岡山大理)他1名 打ち水にともなう地表面熱収支の変化	D404	*花房瑞樹(北大院理)・遊馬芳雄(琉球大理/ 北大院理) 台風の温帯低気圧化の客観的判断
C405	*高橋一之・三上岳彦(首都大院都市環境) 東京都区部における夏期の気温分布と海陸風の挙動	D405	*初鹿宏壮(富山県環境科学センター)・筒井純一(電中研) JRA-25長期再解析データによる熱帯低気圧の最大ポテンシャル強度
C406	*常松展充・岩井宏徳(NICT)他7名 ドップラーライダーとWRFを用いた海風卓越時における東京上空の風の鉛直構造に関する事例解析	D406	*栗原和夫・村崎万代(気象研) 地域気候モデルで再現された台風と大規模場強制力のスケール
C407	*川村誠治・大野裕一(NICT)他1名 NICT ウィンドプロファイラの長期観測データに見られる都市大気境界層の振舞い	D407	*上野充(気象研) 台風境界層内の風の非対称と環境風の鉛直シア
		D408	*吉岡真由美(東大海洋研/JAMSTEC)・栗原宜夫(FRCGC) 大気大循環モデルを利用した水惑星実験に見られる熱帯低気圧性擾乱(その3)

(\*印は講演者を表す)

## A 会場

## B 会場

## 気候システム II

## 雲物理

座長：山崎 信雄(気象大)

座長：島 伸一郎(地球シミュレータ)

- A451 \*水野量・大西雄基(気象大)  
アメダスデータを用いた積雪の再現期待値推定
- A452 \*磯部英彦・福山幸生(気象庁気候情報)  
台風が存在時間と大雨日数の変化傾向
- A453 \*藤部文昭(気象研)  
近年の日本の気温上昇傾向における都市効果
- A454 \*山崎信雄(気象大)・千葉長(気象研) 他3名  
日本付近の冬の強い降水と周辺場の関連
- A455 \*谷貝勇(気象大)  
地球温暖化の影響を受ける 台風、前線、オホーツク海高気圧 について(その2) 2006年7月の前線活動について
- A456 \*鈴木健太郎・山崎信雄(気象大) 他1名  
Koeppen の気候区分図の検証とそれを用いた気候変動の研究
- 座長：行本 誠史(気象研)
- A457 \*阿部彩子(東大気候システム/FRCGC)・瀬川朋紀(FRCGC) 他1名  
北半球の氷期氷床分布は何で決まるか?
- A458 \*大石龍太(東大気候システム)・阿部彩子(東大気候システム/FRCGC)  
最終氷期極大期における気候動態植生相互作用
- A459 \*吉村純(気象研)・水田亮(AESTO/気象研) 他4名  
20km 格子全球大気モデルにおける台風-温暖化タイムスライス実験での海面水温への依存性について
- A460 \*楠昌司(気象研) 他3名  
地球温暖化予測に伴う不確実性の定量化
- A461 \*小畑淳(気象研)  
北大西洋への淡水流入に対する気候炭素循環モデルの応答-産業革命以後の温暖化実験について
- A462 \*行本誠史・保坂征宏(気象研) 他  
気象研究所地球システムモデルの開発 -モデル概要と予備実験結果-
- A463 \*竹村俊彦(九大応力研)・松澤佳奈子(九大院総理工)  
全球モデルへのエアロゾル・氷雲相互作用のパラメタリゼーションの導入
- A464 \*篠田太郎(名大地球水循環)・渡部雅浩(北大院地球環境) 他1名  
GCM 格子スケールでの総水量の確率密度分布 ~ 雲解像モデルの結果を用いた解析 ~
- A465 \*関口美保(海洋大工)・中島映至(東大気候システム)  
新放射コードの開発 その4-パラメータテーブルの再設定

- B451 \*田尻拓也・山下克也(気象研) 他3名  
MRI 雲生成チャンバーによる雲物理実験(その2) 吸湿性粒子シーディングによる雲粒生成実験
- B452 \*山下克也・田尻拓也(気象研) 他3名  
エアロゾル・雲粒子センサーで計測した雲生成時の粒径分布の変化 MRI 雲生成チャンバー雲物理実験より
- B453 \*橋本明弘・村上正隆(気象研) 他3名  
3次元非静力学モデルを用いた最適シーディング法の開発
- B454 \*佐藤可織・岡本創(東北大院理) 他3名  
氷晶雲微物理量抽出とクラスター解析の適用結果
- B455 \*島伸一郎・草野完也(地球シミュレータ) 他2名  
超水滴法による雲-エアロゾル相互作用の評価に向けた試み
- B456 \*久芳奈遠美(FRCGC)・三隅良平(防災科研)  
暖かい雨に対する凝結核散布の効果に関する数値実験-ハイブリッド雲微物理モデルによる人工降雨実験事前評価の試み-
- B457 \*脇水健次・真木太一(九大院農) 他9名  
北部九州における冬季積雲への液体炭酸撒布人工降雨実験
- B458 \*中村晃三(FRCGC,JAMSTEC)・藤吉康志(北大低温研) 他2名  
DYCOMS-II で観測された境界層雲の数値実験 その2:バルク法による雲微物理過程のパラメタリゼーションの影響について

座長：岩波 越(防災科研)

- B459 \*出原幸志郎・水野量(気象大)  
日本周辺における雷活動の統計解析
- B460 \*坪木和久・金子大志(名大地球水循環) 他1名  
雷モデルの開発
- B461 \*高橋暢宏・井口俊夫(NICT)  
TRMM/PR による全球の雨滴粒径分布モデルパラメータの推定
- B462 \*萩原雄一朗・岡本創(東北大院理) 他4名  
衛星搭載イメージャとアクティブセンサによる水雲の雲物理特性の比較
- B463 \*岩波越・前坂剛(防災科研) 他4名  
Xバンド偏波レーダーによる降雨観測における簡易減衰補正
- B464 \*西垣語人(気象庁予報)  
統計力学的なエントロピー増大の法則に基づくサブグリッドスケールの確率論的雲量推定

(\*印は講演者を表す)

## C 会場

## D 会場

## 気象教育

座長：樋口 篤志(千葉大 CEReS)

- C451 \*加藤内蔵進(岡山大教育)・加藤晴子(くらしき作陽大音楽) 他1名 日本の春の季節進行を題材にした気象と音楽の連携(小学校での授業実践)
- C452 \*名越利幸(町田市立小山田中学校)  
Webカメラを利用した雲の観察のための教材開発

## 観測手法

座長：樋口 篤志(千葉大 CEReS)

- C453 \*樋口篤志(千葉大 CEReS)・岡崎絵理(千葉大理) MODISによる高空間分解能雲頻度マップの作成～日本付近の雲発生頻度の地域特性について～
- C454 \*中島孝(東海大)・鈴木健太郎(東大気候システム) 広域雲特性観測から得られる雲成長過程に関する情報について
- C455 \*棚橋修一(富士通株)・後藤あずみ(気象協会) 他4名 ひまわり6号(HRIT)による日射量推定システムの雪氷域対応
- C456 \*後藤あずみ・増田有俊(気象協会) 他5名  
雪氷域判別による日射量推定精度の向上

座長：植松 明久(NICT)

- C457 \*大池八十美・小久保健治(明星電気) 他3名  
ARSの防風板の構造について
- C458 \*藤田真・柴田耕志(明星電気) 他2名 GPSラジオゾンデにおける測風手法—気球下の振り子運動とフィルタリング
- C459 \*清水健作・浅沼達彦(明星電気) 他3名 小型サーミスタを用いたラジオゾンデによる高高度気温観測—気球からの後方流とそのフィルタリング除去—
- C460 \*古本淳一・大西正典(京大生存研) 他4名  
400MHz 帯ウインドプロファイラ・RASS 観測による亜熱帯域温度微細構造の観測
- C461 \*濱田篤・西憲敬(京大院理) 他2名  
CloudSat ミリ波雲レーダと MTSAT 赤外 split-window を用いた熱帯域乱層雲・巻雲の幾何・光学特性の推定
- C462 \*山本真之・TriHandoko Seto(京大生存研) 他6名  
赤道大気レーダーとライダーによる熱帯対流圏中層の非降水雲の観測
- C463 \*植松明久・大野裕一(NICT) 他3名  
衛星搭載雲レーダによるドップラー速度バイアスの評価
- C464 \*勝山健一(気象庁観測システム運用)  
気象庁の降水実況監視用レーダープロダクト
- C465 \*佐藤俊裕・宮城仁史(気象庁観測システム運用) レーダー3次元データによる指数の降水時における出現特性

## 熱帯大気

座長：牛山 朋来(IORGC)

- D451 \*山中大学(IORGC)・橋口浩之(京大生存圏研) 他19名 海大陸の気候力学・天気予報概念の構築を目指して:HARIMAU (Hydrometeorological ARray for Isv-Monsoon AUtomonitoring)計画
- D452 \*森修一(IORGC) 他13名  
インドネシアスマトラ島における HARIMAU2006 集中観測結果(概要)
- D453 \*藤吉康志(北大低温研) 他6名  
赤道大気上下結合(CPEA-I・II)集中観測期間中にみられたレーダーエコーの移動・発達・日周期特性
- D454 \*高藪縁(東大気候システム)  
TRMM-RPF(降雨/発雷比)を利用した海陸の降雨特性解析
- D455 \*清水亜矢子(IORGC)・高藪縁(東大気候システム) 他4名 2006年秋～冬季にインド洋上でみられた季節内変動
- D456 \*米山邦夫・安永数明(IORGC) 他12名  
2006年10-12月 MISMO 集中観測期間中の熱帯インド洋の大気場の特徴について
- D457 \*安永数明(IORGC) 他5名  
MISMO 期間中に観測された降水活動の半日及び日周期
- D458 \*横山千恵・高藪縁(東大気候システム)  
インド洋赤道域と西太平洋赤道域における降雨特性と海面水温の関係

座長：森 修一(IORGC)

- D459 \*牛山朋来・安永数明(IORGC) 他7名  
MISMO 集中観測期間中のモルディブレーダーにとらえられた対流の日変化と大気湿潤化過程について
- D460 \*茂木耕作・城岡竜一(IORGC)  
アンサンブルカルマンフィルタを用いた PALAU2005 ドロップゾンデデータの同化インパクト
- D461 \*西憲敬・濱田篤(京大院理) 他2名  
圏界面付近で大增幅した赤道ケルビン波の構造
- D462 \*吉崎正憲(IORGC)・那須野智江(FRCGC)  
スーパークラウドクラスターの東進のメカニズムについて(2)
- D463 \*榎本剛(地球シミュレータ)・山根省三(千葉科学大/FRCGC) 他1名 ALERAを初期値とした熱帯季節内振動のアンサンブル実験
- D464 \*大塚成徳・余田成男(京大院理)  
熱帯対流圏中層に見られる層状構造の季節変化に関する数値実験
- D465 \*山田由貴子(北大院理)・石渡正樹(北大院地球環境) 他2名 水惑星実験における赤道域降水パターンに対する鉛直乱流混合過程の影響

大会第1日 [ 5月13日 ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

キーワード: 物質循環・相互作用・都市気象・気象予報・大気力学・中層大気・大気放射・  
中高緯度大気・気候システム・竜巻・大気電気 他 (\*印は講演者を表す)

- P101 松田結 (気象庁)・\*和田晃 (気象大) 他 5 名  
気象庁の大気バックグラウンド汚染観測所における  
一酸化炭素濃度変動の解析
- P102 \*室崎将史 (東京理科大)・藤田慎一 (電中研)  
他 3 名 富士山におけるオゾン濃度と二酸化窒素  
濃度の鉛直分布の測定
- P103 \*宮川幸治 (高層気象台)  
反転観測の再解析から得られる長期オゾントレンド
- P104 \*寺尾有希夫 (環境研)・Jennifer Logan (ハーバード大)  
Correlation in interannual variability of  
ozone between lower stratosphere and  
troposphere
- P105 \*Kadarsah Riadi (東工大) 他 2 名  
Application of REMOTE to study of the spreading  
of forest fire smoke in the atmosphere over  
Indonesia 1996-1998
- P106 \*市井和仁 (福島大) 他 1 名  
衛星データを用いた陸域生物圏モデルの向上
- P107 \*丹羽洋介・今須良一 (東大) 他 5 名  
NICAMを用いたCO<sub>2</sub>地表面フラックスのイン  
バージョン解析
- P108 \*三浦和彦・藤代恵史 (東京理科大) 他 5 名  
富士山頂で測定したエアロゾル粒径分布への谷  
風の影響
- P109 \*清水厚・杉本伸夫 (環境研) 他 1 名  
ミー散乱ライダーによる雲底下のエアロゾル後方  
散乱係数導出
- P110 \*財前祐二・岡田菊夫 (気象研) 他 2 名  
揮発特性による大気エアロゾル粒子の混合状態  
の測定
- P111 \*直江寛明 (気象研)  
DMS サイクルにおける海塩粒子への捕捉消失過  
程
- P112 \*篠田佳宏・五十嵐康人 (気象研) 他 5 名  
2006年春季につくばで観測したダストイベントの  
解析
- P113 \*五十嵐康人・青山道夫 (気象研) 他 2 名  
人工放射能の降下量からみた風送ダスト輸送
- P114 \*大島長・小池真 (東大院) 他 6 名  
人為起源ブラックカーボンの混合状態の時間的  
変化とその要因 層圏オゾン変動と重力波との関  
係—エアロゾルの粒径分布と混合状態を表現した  
新しいモデルの開発—
- P115 \*大久保さゆり・三上岳彦 (首都大) 他 2 名  
関東地方におけるSPM(浮遊粒子状物質)濃度お  
よびその空間分布パターンの長期変動
- P116 \*中川慎治・萩野谷成徳 (気象研)  
牧草地におけるポテンシャル蒸発量と実蒸発量の  
関係
- P117 \*加藤知道 (FRCGC)・伊藤昭彦 (環境研) 他 1  
名 20世紀の大気—陸域生態系間相互作用にお  
ける陸域炭素循環の役割
- P118 \*稲垣厚至・神田学 (東工大) 他 1 名  
都市接地境界層内部スケールによる乱流統計量  
の相似性
- P119 \*Hossain Md. Maruf・吉野純 (岐阜大院) 他 2  
名 Numerical experiments of the urbanization  
influence on the climate of Tokai area, Japan,  
using an urbanized mesoscale meteorological  
model
- P120 \*津國眞明・森脇亮 (東工大) 他 1 名  
屋外模型都市におけるPIVを用いた乱流計測
- P121 小田義裕・\*久田由紀子 (九大) 他 1  
名 海風侵入に伴う福岡都市圏の気温変化
- P122 \*田中博春 (首都大) 他 2 名 汐留地区のビル群が海風の風下地域に  
及ぼす影響評価(3) -パイロットバルーン・ヘリコプ  
タ・ドップラーライダーによる同期観測の結果から -
- P123 \*根本由紀子 (気象予報士会)  
最高気温と標準偏差で見える夏の特徴
- P124 \*近藤圭一 (筑波大) 他 1 名 田中博 (筑波大) 他 1 名  
順圧大気循環モデルによるアンサンブル・  
カルマンフィルタの実験
- P125 \*杉村剛 (名大院) 他 1 名 高橋桂子 (ESC)  
Voronoi Reduced Grid
- P126 \*加藤敦・眞木雅之 (防災研)  
大倉博 マルチパラメータレーダ雨量を用いたナ  
ウキャスト
- P127 \*黒田徹 (気象研/JST)・川畑拓矢 (気象研)  
NHM-4DVAR の評価関数最適化アルゴリズムの  
検討
- P128 \*清水慎吾・前坂剛 (防災研) 他 4 名  
2001年8月22日埼玉県羽生市で発生した台風  
11号に伴う竜巻の発生予測実験
- P129 \*大門禎広 (気象予報士会)  
雲断面図による時系列予報
- P130 \*金久博忠 (気象大)  
質量平均速度を基準速度に選ぶことについて
- P131 \*荒木健太郎・金久博忠 (気象大) Eady model  
における $\beta$ の影響
- P132 \*小玉知央・岩崎俊樹 (東北大院) 他 1 名  
対流圏上部・下部の傾圧性と傾圧不安定波動に  
関する水惑星実験
- P133 \*山森美穂 (都留文大)・村山泰啓 (NICT) 他 3  
名 オゾンゾンデ3時間毎観測に現れた下部成層  
圏オゾン変動と重力波との関係
- P134 \*落合啓 (NICT)・西堀俊幸 (JAXA) 他 1 名  
JEM/SMILES リム放射スペクトルデータの導出と  
較正処理
- P135 \*渡邊友紀・重尚一 (大阪府大院) 他 2 名  
放射伝達モデルを用いたTRMM降雨プロダクトの  
地域的・季節的な検証
- P136 \*朽木勝幸・青木輝夫 (気象研) 他 3 名  
双方向反射率に対する地表面ラフネスの効果
- P137 \*山崎明宏・内山明博 (気象研) 他 2 名  
エアロゾル散乱係数の湿度特性の測定
- P138 \*鈴木香寿恵 (総研大)・山内恭 (極地研) 他 1 名  
南極氷床沿岸部および内陸部への大気  
輸送経路

- P139 \*竹本麻紗子 (筑波大院環境科学)・田中博 (筑波大計算科学) 対流圏上層と下層におけるハドレー・ウォーカー・モンスーン循環強度の比較
- P140 \*八木晃司・花輪公雄 (東北大院理)  
2005年12月と2006年12月の大気大循環場と日本の天候
- P141 \*長島佳菜 (IORGC)・多田隆治 (東大院理) 他4名 日本海に堆積する黄砂の供給源とその変動について
- P142 \*赤坂郁美 (首都大院)・森島済(江戸川大) 他2名 フィリピンにおける降水の季節変化異常 -1998～2000年を事例として-
- P143 \*佐川智孝・児玉安正 (弘前大理工) 他1名 RAMSを用いた SACZ の形成要因に関する研究 (その2)
- P144 \*櫻井溪太 (富山大理)・川村隆一(富山大院理工) 日本で発生する竜巻などのシビアストームの予測可能性
- P145 \*菅原祐也・小林文明 (防衛大地球海洋)  
ドップラーレーダ観測による寒冷前線上の渦構造～2006年4月20日藤沢竜巻の事例～
- P146 \*古川訓男 (高知大理院)・佐々浩司 (高知大理) 他1名 線状降水帯の対流雲と落雷分布(2004年8月17日高知県大川村の事例)

大会第2日 [ 5月14日 ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

キーワード:物質循環・相互作用・都市気象・気象予報・大気力学・中層大気・大気放射・  
中高緯度大気・気候システム・竜巻・大気電気 他 (\*印は講演者を表す)

- P201 \*佐竹晋輔・早坂忠裕(地球研)他3名  
化学物質輸送モデルとライダー観測データ解析によって示された東アジア域のエアロゾル鉛直分布の特徴
- P202 \*池上雅明・松本康志(気象庁)他7名  
気象庁黄砂予測モデルの改良
- P203 \*金憲淑・甲斐憲次(名大院環境)  
Recent dust outbreaks in the Taklimakan Desert and their relation to surface wind and the land surface
- P204 \*鈴木攻祐・中西幹郎(防衛大地球海洋)他1名  
フリーエ解析を用いた降水による汚染物質除去量の推定—雨はどれほどの大気汚染物質を洗い流しているか?—
- P205 \*原圭一郎(福岡大理)・長田和雄(名大院環境)他5名  
南極昭和基地でのブラックカーボン濃度変化とその特徴
- P206 \*忠鉢繁(気象研)  
南極オゾンホール開始時期
- P207 \*小林ちあき(気象庁環境気象)  
2006年の南極オゾンホールと気象場との関係
- P208 \*町田敏暢(環境研)・松枝秀和(気象研)他7名  
民間航空機を利用した大気中CO<sub>2</sub>濃度の鉛直分布観測
- P209 \*松枝秀和(気象研)・町田敏暢(環境研)他7名  
定期航空機によるフラスコサンプリングで観測されたメタン濃度の変動
- P210 \*和田晃(気象大)・村山昌平(産総研)他7名  
高時間分解能をもつラドン濃度測定方法の改良
- P211 \*村山昌平(産総研)・澤庸介(気象研)他7名  
気象研究所鉄塔で観測された大気中ラドンとCO<sub>2</sub>濃度の日々の変動
- P212 \*近藤裕昭(産総研)・菅原広史(防衛大地球海洋)他7名  
気象研鉄塔で観測された夜間の安定成層状態と乱流輸送
- P213 \*石島健太郎(FRCGC)・村山昌平(産総研)他7名  
冷温帯落葉広葉樹林と気象研究所構内における土壌水分量及びラドンフラックスの測定—2006年集中観測結果—
- P214 \*小谷亜由美(JST)・杉田倫明(筑波大院生命環境)  
粗密度草原における熱輸送パラメータの推定
- P215 \*飯泉仁之直・木村富士男(筑波大院生命環境)  
トルコ・チュクロバ平野の夏期低層雲に対する灌漑農業の影響
- P216 \*小田僚子・神田学(東工大院理工)  
東京湾内湾全域における海面温度連続自動計測システム
- P217 \*仲吉信人・森脇亮(東工大)他1名  
屋外模型都市における遮断蒸発特性に関する研究
- P218 \*大平満・高橋桂子(ESC)他1名  
全球/領域/都市域統合・非静力学大気シミュレーションコード MSSG-A の開発
- P219 \*大和広明(首都大院)・三上岳彦(首都大)他  
広域首都圏における夏季のヒートアイランド現象
- P220 \*久田由紀子・大賀隆史(九大院総理工)他2名  
福岡平野における都市の発展にともなう風の変化
- P221 \*菅原広史(防衛大地球海洋)・成田健一(日工大建築)他5名  
都市キャンピアーの熱収支—銀座周辺における実測—
- P222 \*近藤由美・神田学(東工大)  
気象モデルのための都市植生オアシス効果のモデリング
- P223 \*澤井哲滋・藤樫淳平(気象大)  
数値予報データを用いた大気現象の三次元表示に関する研究—台風北上過程の表示—
- P224 \*堀之内武(京大生存研)・西澤誠也(京大数理)他  
地球流体データの公開・共有・解析・可視化のためのツール Gfdnavi の開発
- P225 \*吉野純・片山純(岐阜大院工)他1名  
メソ気象モデル MM5 によるピンポイント降水量予測の精度について
- P226 \*三好建正(気象庁数値予報)・山根省三(千葉科学大/FRCGC)他1名  
Local patch を使わない新しい LETKF の実装
- P227 \*日下博幸(筑波大計算科学)・川瀬宏明(筑波大院生命環境)他1名  
冬季南岸低気圧通過時の関東平野の低温形成に及ぼす山岳の影響:メソ気象モデル WRF を用いた数値実験
- P228 \*鈴木一步(筑波大院生命環境)・田中博(筑波大計算科学)  
大気の順圧成分に見られるテレコネクション
- P229 \*高橋桂子(ESC)・瀧上弘光(NIS)他5名  
MSSG による水平解像度 1.9km 全球大気シミュレーション
- P230 \*檜尾守昭(気象大)・前島康光(東大海洋研)  
爆弾低気圧の発達メカニズムの理解に向けて(1): 湿潤大気の方程式系によるスケール解析
- P231 \*庭野匡思(東京管区气象台)  
温帯低気圧に伴う地上強風発現メカニズムについて
- P232 \*坂見智法・保坂征宏(気象研)  
Hinesの重力波抵抗パラメタリゼーションにおける鉛直解像度依存性と確率過程の導入
- P233 \*富川喜弘(極地研)・佐藤薫(東大院理)  
オゾン層状構造と南極オゾンホール内への質量輸送
- P234 \*大西将徳・渡辺雅之(京大院人間環境)他1名  
振動子強度を用いた大気の散乱断面積の物理的考察

- P235 \*千葉長・高橋清利(気象研)他2名  
JRA-25 熱収支解析 - 大気上端及び放射収支
- P236 \*工藤玲(気象研)他3名  
直達光・散乱光からのエアロゾルの光学特性の推定
- P237 \*加藤真悟(筑波大自然)・田中博(筑波大計算科学) 順圧大気大循環モデルを用いた2005/06年冬および2006/07年冬における北極振動指数の予測実
- P238 \*小笠原拓也・川村隆一(富山大院理工)  
日本の夏季天候に影響を与える遠隔伝播パターンの複合について
- P239 \*氏家将志(気象庁気候情報)  
温位面に基づく EP- flux を用いた運動量収支解析
- P240 \*鈴木博人・加藤亘(JR 東日本防災研究所)  
日本の積雪地域における大雪の出現頻度と気温の関係
- P241 \*サンガ・ンゴイカザディ・宗本政紀(三重大生物資源) GISと衛星データを用いたサヘル地域の干ばつに関する環境気候解析
- P242 \*原田やよい(気象庁気候情報)  
平成 18 年7月豪雨をもたらした環境場としての循環場の解析
- P243 \*小林文明・菅原裕也(防大地球)  
最近 10 年間のわが国における竜巻の統計的特徴
- P244 \*宮崎忠臣・岡田富男(前工大) 他 6 名  
北関東における夏季雷雲の総合観測
- P245 \*中村佳敬・秋田学(阪大院工) 他 4 名  
ウィンドブファイラレーダと VHF 波帯広帯域デジタル干渉計による雷活動時の大気の流れに関する事例解析(2)



大会第3日 [ 5月15日 ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

キーワード: 気象教育・大気境界層・観測手法・雲物理・気候システム・  
熱帯大気・台風・降水システム 他 (\*印は講演者を表す)

- P301 \*高橋庸哉 (北教大)・坪田幸政 (桜美林大)  
WHAT DO STUDENTS FIND OUT FROM  
SATELLITE IMAGES?
- P302 \*高橋厚裕 (地球研)・檜山哲哉 (名大地球水循環)他3名 夏季の中国・黄土高原南部で観測された大気境界層と自由大気間の水蒸気交換量の日々変化
- P303 \*西川将典 (名大地球水循環) 他5名  
中国・黄土高原における対流雲発生時の大気境界層とその再現実験
- P304 斎藤恭央・\*菅原広史 (防衛大地球海洋) 他3名  
積雪の有無による夜間冷却量の違い
- P305 \*田畑弾 (富山大院教育)  
富山県平野部の風速に対する風向分布と地形効果
- P306 \*関隆則 (気象予報士会)  
日射加熱率で見た、盆地における気温変化の特徴
- P307 \*廣岡智・稲垣厚至 (東工大院理工) 他1名  
乱流組織構造の定量的把握
- P308 \*石田祐宣 (弘前大理工)・松島大 (千葉工大)  
他1名 野外観測による乱流輸送量面的分布の統計解析
- P309 \*小司禎教 (気象研)・古本淳一 (京大生存圏)  
他1名 GPS 掩蔽法:対流圏下層の品質管理について
- P310 \*関澤信也・川村誠治 (NICT) 他1名  
デフォーカス給電パラボラアンテナを用いた  
MSPC-WPR 自動観測システム
- P311 \*木田智史・重尚一 (大阪府大院工) 他4名  
TRMM 衛星搭載マイクロ波放射計と降雨レーダデータを用いた降雨と無降雨を識別するための雲水量の閾値の決定法の提案とその応用
- P312 \*古本淳一・松ヶ谷篤史 (京大生存研) 他1名  
周波数干渉計映像法を用いた MU レーダー・  
RASS 観測による気温の高高度分解能観測
- P313 \*小野耕作・酒井敏 (京大院人間環境)  
揚力を利用した翼型係留気球の開発
- P314 \*佐藤陽祐・中島映至 (東大気候システム) 他1名  
雲粒子成長における衝突・併合過程の乱数法を用いた計算
- P315 \*奥田智洋 (防大地球) 他6名  
海霧の粒径分布観測から得られた視程悪化時の特徴
- P316 \*井上豊志郎・萩野谷茂徳 (気象研)  
Pt. Reyes (カリフォルニア州)における下層雲と全天日射量
- P317 \*五十嵐弘道 (JAMSTEC)・淡路敏之 (FRCGC/京大院理) 降水効率変動から見た梅雨期降水量の年々変動について
- P318 \*筒井純一・西澤慶一 (電中研) 他2名  
太陽活動の11年周期変動が気候におよぼす影響: 大気大循環モデル WACCM による気候実験
- P319 \*釜堀弘隆 (気象庁気候情報)・尾瀬智昭 (気象研) 他3名 再解析に表現される陸域降水量と土壌水分量
- P320 \*仲江川敏之 (気象研)  
全球大気モデルで再現された年最大月降水量の生起確率
- P321 \*佐々木秀孝・高藪出 (気象研) 他3名  
非静力学地域気候モデルによる現在気候再現実験
- P322 \*村崎万代・佐々木秀孝 (気象研) 他3名  
JRA-25 を境界条件とした地域気候モデルを用いた過去の気候再現実験
- P323 \*渡来靖 (筑波大陸域環境)  
地球温暖化モデル実験における冬季北半球ブロッキングの発生頻度
- P324 \*安田珠幾 (気象研)・高谷祐平 (気象庁気候情報) 他1名 気象庁次期エルニーニョ予測システムの開発
- P325 \*横島徳太・江守正多 (環境研) 他10名  
CO<sub>2</sub>平衡応答および過渡応答実験における気候フィードバック
- P326 \*浜田純一・森修一 (IORGC) 他8名  
HARIMAU2006 集中観測によるスマトラ島沿岸域の対流活動に関する研究
- P327 \*横井寛 (東大院理)・松本淳 (首都大院都市環境) 北東アジアモンスーン発達期に発生するコールドサージの研究
- P328 \*児玉安正・谷澤宏樹 (弘前大理工) 他1名  
CPEA-I 期間中の風変動の運動量収支解析
- P329 \*遠藤伸彦 (IORGC) 他4名  
東南アジアにおける降水特性の長期変化
- P330 \*岩崎杉紀 (防大)・松井一郎 (環境研) 他6名  
キリバス、ピアックに設置したライダによる  
Sub visual Cirrus Clouds の同時観測
- P331 \*和田章義 (気象研)・新野宏 (東大海洋研)  
面上の台風渦の発達過程と海面水温の関係
- P332 \*宮本佳明・石川裕彦 (京大防災研)  
他1名 台風強風下における波浪の影響
- P333 \*高野洋雄・村田昭彦 (気象研)  
抵抗係数の波浪依存性が台風強度に与える影響
- P334 \*下川信也・栢原孝浩 (防災科研) 他2名  
熱力学的視点からの台風の活動度の解析について
- P335 \*田中実 (気象研)  
北西太平洋地域における亜熱帯低気圧の発生とその地理的分布
- P336 \*足立アホロ・小林隆久 (気象研) 他2名  
台風0221号に伴うガストフロントの低層構造
- P337 \*中村貴・檜尾守昭 (気象大)  
台風第0410号に伴う四国の強雨の事例解析と成層不安定化の解釈
- P338 \*北島尚子 (気象研)  
台風0423号の構造変化と大雨の特徴
- P339 \*高橋桂子 (ESC)・後藤浩二 (NEC) 他5名  
MSSGによる夏季の降雨分布再現実験
- P340 \*尾上万里子・上田博 (名大地球水循環) 他1名  
梅雨前線帯における対流性降水の地上雨滴粒径分布の特徴

- P341 \*藤田実季子 (IORGC)・木村富士男 (筑波大)  
他 1 名 タイ湾上に発生する早朝の降水
- P342 \*櫻井南海子・森修一 (IORGC) 他 13 名  
HARIMAU2006 集中観測期間中に観測されたスマトラ島における西進する降水システムの内部構造について
- P343 \*山本宗尚 (名大院環境)・中村健治(名大地球水循環) TRMM データによる中緯度降水システムのマイクロ波放射特性
- P344 \*猪上華子・足立アホロ (気象研) 他 2 名  
関東地方における夏季雷雨発生時の水蒸気場の特徴
- P345 \*瀬古弘 (気象研)・山下寛 (大阪管区气象台)  
他 4 名 近畿地方や中国・四国地方の線状降水帯の構造と維持機構(その1)

## 大会第4日

〔 5月16日 〕

11:30~12:30

## ポスター・セッション

キーワード: 気象教育・大気境界層・観測手法・雲物理・気候システム・  
熱帯大気・台風・降水システム 他 (\*印は講演者を表す)

- P401 \*日下博幸 (筑波大計算科学)・渡来靖 (筑波大陸域環境) 他 2 名 筑波大学リアルタイム気象予測システムの開発
- P402 \*玉川一郎 (岐阜大流域圏)・壁谷健司(岐阜大院工) ドップラーソーダの製作
- P403 \*齊藤龍・田中智章 (環境研) 他 7 名 筑波山近辺の気象不連続変化時における複数測器の相関と考察
- P404 \*岩崎一晴 (都立大理)・泉岳樹(首都大都市環境) 他 1 名 メソスケール気象モデルを用いた羅臼だしの再現実験
- P405 \*稲村友彦 (都立大理)・松山洋(首都大都市環境) 他 6 名 まつぼり風の数值シミュレーションへ現実の地形と仮想的な地形を用いて～
- P406 \*近藤文義・塚本修 (岡大院自然) アスファルト面上での二酸化炭素輸送量評価における Webb 補正の精度検証
- P407 \*岩田徹・下重光次 (岡山大院環境) 他 2 名 渦相関法による海面CO<sub>2</sub>フラックスの品質管理
- P408 塚本幸生・\*山本晋 (岡山大院環境) 他 3 名 森林における夜間のCO<sub>2</sub>流出量評価
- P409 \*高橋琢也・河崎善一郎 (阪大院工) 他 6 名 パルス圧縮技術を用いた広帯域レーダにおける信号処理の検討
- P410 \*石田春磨・中島孝 (東海大情技センター) 地表面過程を分離した Look Up Table 法による放射輝度計算
- P411 \*久保田拓志 (JST)・牛尾知雄 (阪大院工) 他 4 名 レーダー・アメダス解析雨量による衛星推定降雨量の検証
- P412 \*吉田幸生・田中智章 (環境研) 他 7 名 短波長赤外フーリエ変換分光器(GOSAT-BBM)による二酸化炭素スペクトルの高地観測実験その 2
- P413 \*遠宮善陽・浅野正二 (東北大院理)他4名 三陸沖における船舶・航空機観測データを用いた下層雲の雲物理特性の解析
- P414 \*三隅良平 (防災科研)・村上正隆 (気象研) 他8名 多次元ビン法による雪片と霰
- P415 \*山尾理恵子・菅原広史 (防衛大地球海洋) 他4名 百里飛行場における霧発生時の気象状態について
- P416 \*井上豊志郎 (気象研)・井上智亜(筑波大学) ペルー沖の下層雲の季節変動
- P417 \*山下陽介・高橋正明 (東大気候システム) 太陽黒点11年周期変動、QBOと成層圏、対流圏の環状モードの関連性
- P418 \*石原幸司 (気象研) COBE-SST を用いた全球平均気温年差とその不確実性の評価
- P419 \*高橋清利 (気象研)・山崎信雄 (気象大) 他 2 名 再解析データにおける陸域日降水量特性の検証
- P420 \*田中実(気象研) 20世紀における日本付近の冬の気温とシベリア高気圧・アリユーション低気圧・北極振動・ENSOの関係
- P421 \*高藪出・佐々木秀孝 (気象研) 他 4 名 MJ-SiB を組み込んだ地域気候モデルによる積雪の再現について
- P422 \*内山貴雄 (気象研)・齋藤仁美(気象庁気候情報) 他 7 名 領域大気海洋結合モデルを用いた日本の温暖化予測
- P423 \*遠藤洋和 (仙台管区気象台) 他 4 名 20km 格子地域気候モデルによるヤマセ型低温の再現性と将来予測
- P424 \*足立恭将・行本誠史 (気象研) アルベドと海氷厚の取扱の違いによる融解量と結氷量への感度実験
- P425 \*Huiling QIN・H. Kawamura (Graduate School of Science, Tohoku University) 他 2 名 Diurnal SST variations associated with the equatorial hot events MTSAT and in situ observations -
- P426 \*宮川知己・高藪縁 (東大気候システム) 他 6 名 MISMO観測期間中のインド洋上におけるクラウドクラスターの振る舞い
- P427 \*Tri Handoko Seto・M.K. Yamamoto(京大生存研) Observational study on westerly wind burst over Sumatra, Indonesia
- P428 \*田畑悦和・橋口浩之 (京大生存研) 他 7 名 ウィンドプロファイラー観測に基づくインドネシア海洋大陸域における日変化特性
- P429 \*廣瀬祐城 (筑波大第一学群)・植田宏昭 (筑波大院生命環境)他 2 名 TRMMで観測された浅い対流の時空間分
- P430 \*山中吾郎・安田珠幾 (気象研) 他 5 名 2006 年秋の太平洋赤道域とインド洋の状況について
- P431 \*吉田尚弘・吉野純 (岐阜大院工) 他 2 名 大気-海洋-波浪結合モデルを用いた台風直下の海面境界過程の理想実験
- P432 \*和田章義 (気象研) 表層海洋変動が台風に与える影響
- P433 \*柳瀬亘 (東大気候システム) 他6名 水平解像度14kmの全球シミュレーションにおける熱帯低気圧の振舞い
- P434 \*村田昭彦・中澤哲夫 (気象研) 他2名 週間アンサンブル予報における台風発生環境場
- P435 \*東佑次 (三重大生物資源)・葛葉泰久 (三重大院生物資源) T0514期間中における地形と降雨発生機構の関係に関する研究

- P436 \*木下仁 (鹿児島地方気象台) 台風 0613 号の中心付近における発雷について
- P437 \*渡邊嵩 (首都大都市環境) 他 2 名  
台風経路の違いと山梨県内の雨量分布特性との関係について
- P438 \*日置智仁 (富山大理)・川村隆一(富山大院理工) 台風の遠隔強制による豪雨発生の可能性について
- P439 \*川瀬宏明(筑波大院生命環境) 筑波山気象観測ステーションで観測された冬の南岸低気圧の暖気移流
- P440 \*今井真希・小林文明 (防衛大地球海洋) 他 4 名  
夏季晴天時に東京都心周辺で形成される熱的低気圧
- P441 \*筆保弘徳 (IORGC) 他 10 名 HARIMAU2006 期間中に観測された降水システムと降水同位体の関係
- P442 \*M. Rafiuddin・Hiroshi Uyeda(名大地球水循環) 他 1 名  
Characteristics of precipitation systems in and around Bangladesh during monsoon
- P443 \*高橋暢宏 (NICT)・池上久通 (学芸大)  
TRMM/PR における 0°C 高度を基準とした降水マップの作成
- P444 \*森真理子 (高層気象台)・中里真久 (気象研) 他 1 名  
2004 年 9 月 29 日尾鷲付近で発生した集中豪雨の事例解析(Ⅲ)
- P445 \*瀬古弘・斉藤和雄 (気象研) 他 4 名  
気象庁非静力学モデルを用いた日本域メソアンサンブル予報 (その1:規格化した現業週間アンサンブルの摂動を用いた実験)